

# はりまなだ あわじ にしうら 播磨灘に落ち込む淡路 西浦の風景

所在地：淡路市 深草



「島の夕景」兵庫県尼崎市 松崎純治氏撮影  
(第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)



「播磨灘と田んぼ」淡路市 源田みどり氏撮影  
(第2回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品)

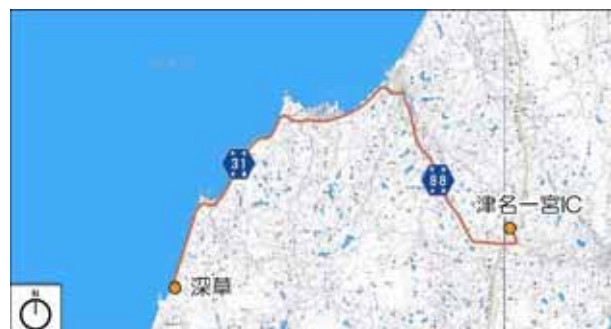
淡路島の西海岸は、通称「西浦」と呼ばれています。特に、旧一宮町深草周辺の西浦北部は、播磨灘へせりだした丘陵地がストンと海に落ち込み、独特な自然景観をつくりだしています。また、海と丘陵地が一体となった自然のなか、淡路瓦を葺いた昔ながらの民家が点在し、淡路島らしい景観が広がっています。

昔、西浦の漁師は、冬に吹く北西風の影響で漁に出られず、三重、和歌山や徳島方面へ杜氏として出稼ぎにでていたほど生業条件が厳しい地域でした。そこで、岬や丘陵地などの小さな地形の変化を活かし、播磨灘からの波風を上手に避けながら、港や漁村がつくられてきました。現在も、岬の側に佇む漁村集落や港では、淡路島の風土に合わせて暮らしてきた工夫を感じることができます。

- 【景観の特徴】
- ✓ 自然がつくりだす景観
  - ✓ 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

## 【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮 IC 下車、県道 88 号を北上、群家交差点を左折し県道 31 号線に入り西へ進む。車で約 40 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図